

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【公表番号】特表2004-513833(P2004-513833A)

【公表日】平成16年5月13日(2004.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2004-018

【出願番号】特願2002-543922(P2002-543922)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 N 2/02

A 4 7 C 7/14

A 4 7 C 7/46

B 6 0 N 2/44

【F I】

B 6 0 N 2/02

A 4 7 C 7/14 A

A 4 7 C 7/14 B

A 4 7 C 7/46

B 6 0 N 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成14年8月19日(2002.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両のシートに設けられた可調式ボルスタの入力パラメータを調整する方法であつて、
 (a) 前記入力パラメータの値について前記可調式ボルスタに加わるフィードバック力を検出し、該フィードバック力が、前記入力パラメータと前記可調式ボルスタに加わるフィードバック力との間に関係を確立する所定の力minに実質的に等しくなるように、前記入力パラメータを第2の値に増大させ、
 (b) 前記関係に基づいて前記入力パラメータを調整する、ことを含む前記方法。

【請求項2】

前記工程(b)が、車両の車両パラメータを検出し、該車両パラメータを作動閾値と比較し、車両パラメータが作動閾値よりも大であるか、或いは、等しいならば、前記入力パラメータを増大させることを含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記工程(b)が、前記車両パラメータを作動停止閾値と比較し、前記車両パラメータが前記作動停止閾値よりも大であるか、或いは、等しいならば、前記入力パラメータを前記第2の値に減少させることを含む、請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記車両のエンジンの始動、前記車両のドアの閉鎖、或いは、シートの着座者の存在の検出の後に、前記工程(a)、(b)を開始させることを含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記車両のエンジンの作動停止時、或いは、前記車両のドアの開放時に、前記入力パラメータを最小値に減少させることを含む、請求項1記載の方法。